

ハイライトよねやま

財)ロータリー米山記念奨学会
2007年9月12日発行

1. 寄付金速報 10月の米山月間に向けて

8月の寄付金は、前年同期と比べて3.3%減、約1千万円の減少となりました。普通寄付金が2.1%減、特別寄付金が5.6%減と、先月に引き続き前年度比マイナスとなっているものの、7月末(6.6%・1千5百万円減少)に比べると減少幅は縮小しています。

10月の米山月間をひかえ、事務局では全ロータリークラブへ米山月間用資料をお届けいたします。卓話やセミナーなどで使用する寄付金データのご希望がございましたら、事務局・大庭^{おおば}までご連絡ください。なお、『豆辞典』『クラブ米山奨学委員長の手引き』などの新しい資料にも、寄付に関する資料が含まれています。併せてご活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

月間資料についての詳細は裏面参照

2. 理事会・評議員会開催報告 役員改選で、新理事長就任

2007年度第1回の評議員会および2007年度第1回・第2回の理事会が、それぞれ8月30日(木)メルパルク東京(東京都港区)にて開催されました。

午前の評議員会には、全国から41名の評議員と常務理事会メンバー、監事の10名が出席。議長には、互選によって浅川皓司評議員(第2580地区ガバナー)が選出されました。



【主な評議員会決議】

- 評議員任命：2007年度評議員が就任を承諾
- 理事・監事選任：理事・監事の任期満了に伴い、2007年度理事・監事を選任
- 2006年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認

午後の理事会は、新旧の理事・監事合わせて41名が出席し、2006年度までの理事・監事による第1回理事会と、2007年度からの理事・監事による第2回理事会が開催されました。

【第1回理事会における主な決議】

- 選考委員会規程改定案の承認：委員の任期、招集者の変更のほか、現地採用奨学金の選考に際し、学識経験者の学友に就任してもらう必要があることから規程を一部改定した。
- 2007年度選考委員会委員の選任：原案通り6名を選任
- 2006年度事業報告・決算報告の承認：それぞれ原案通り承認

【第2回理事会における決議】

- 2007年度役員を選任：役員候補者指名委員会から答申された以下の役員候補者を承認
理事長：板橋敏雄氏(2550)
副理事長：金子千侍氏(2570)・仁田一也氏(2710)
常務理事：伊藤長英氏(2510)・高木貞一郎氏(2840)・近藤雅臣氏(2660)
- 任期満了による理事・監事に対する感謝：退任理事・監事に感謝状が贈られました。



このほか、島津久厚前理事長の名誉理事長への推挙が全会一致で承認されました。理事会終了後のフォーラムでは、要望や意見が次々と挙がり、新しい体制が整い、人心を一新しての幕開けを印象づける理事会となりました。

「ロータリーの友」10月号よねやまだよりには、新旧理事長による対談が掲載されます。

3. 中国の学友から 50 万円の寄付【米山学友 姫 軍さん】



北京で法律事務所を構える米山学友の姫 軍さん（中国 / 1995-97 年 / 東京大学大学院 / 東京臨海 R C）が、この 8 月に米山奨学会への寄付金として 50 万円を送金してくれました。

「在学中に米山奨学金に大変お世話になった恩に報いたい。それとともに、私がいただいた恩を次の世代に伝えたい。米山奨学会に寄付することで、この 2 つの目的を同時に達成できると考えました。できれば、これから毎年 50 万円ずつ寄付したいと思います」と語る姫 軍さん。現在、敏腕弁護士として、中国に投資する日本企業などのビジネスをサポートし、中国国内での問題解決に尽力しています。今年 6 月、商標権をめぐる訴訟で、日本の最高裁にあたる中国最高人民法院が、ヤマハ発動機全面勝訴の判決を下したニュースが日本でも報道されましたが、姫 軍さんはこの裁判の担当弁護士として、渉外商標権の損害賠償としては過去最高額の 830 万元（約 1 億 3 千万円）を勝ち取ることに成功しました。

米山奨学生当時の思い出として、一番心に残っていることを尋ねると、「世話クラブの東京臨海 R C の皆さんが私に寄せてくださった期待です」との答えが返ってきました。カウンセラー会員の大澤成美さんからの「どのように偉くなっても、自分の初心を忘れないでください」という言葉は、今でも忘れられないと言います。一方、大澤さんも「礼儀正しくまじめな好青年で、当時から大成すると信じていました。姫 軍さんは当クラブがお世話した初めての米山奨学生。私にとっても初めてカウンセラーを務めた奨学生が社会に有用な人材となって、日本との民間外交に貢献しているのは大変うれしいことです」と語ってくれました。

4. 訃報 元米山理事の衣笠秀夫氏 逝去

元米山理事の衣笠秀夫氏（第 2820 地区・水戸 R C）が 2007 年 8 月 14 日にご逝去されました。享年 86 歳でした。1996～2000 年度までの 5 年間米山理事をお務めいただき、1999～2001 年度までの 3 年間は学務委員としてご奉仕くださいました。衣笠氏は、寄付目標額を定めて寄付を積み立てていく高額寄付制度を発案され、ご自身は 1 千万円の目標額に向けてこれまでに 661 万円もの寄付を積み立てて頂きました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

10 月 は 米 山 月 間

米山月間のための資料を送付します

今年も米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9 月 19 日発送完了予定）。

- ★ 理事長交替挨拶状 1 部
- ★ 「米山奨学事業・豆辞典」 全会員数分 + クラブ事務局用 1 部
（プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へお送りしますが、ご要望があればお気軽にお問い合わせください）
- ★ 「米山学友の群像 vol.2」 1 冊
- ★ 「2006 年度事業報告書」 1 冊
- ★ 「2006 年度事業報告書 統計・資料編」 1 冊
- ★ 「クラブ米山奨学委員長の手引き（寄付金マニュアル付）」 1 冊
- ★ 「2006 年度 決算報告」 2 部

米山月間資料は理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。上記のほかに必要な情報がありましたら、米山奨学会事務局までお問い合わせ下さい。